

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	SORATO (UMIE) てんり ※SORATOてんり (1単位目 多機能型)		
○保護者評価実施期間		2025年10月1日	~ 2025年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間		2025年10月1日	~ 2025年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日		2025年11月1日	

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	SORATOてんりの強みは、児童一人一人の発達段階を的確に見極め、療育内容に反映していることだと思います。また、毎回の療育後にその日の写真や動画を保護者の方にお見せしながら、活動のねらいや児童の様子、課題をお伝えしているため、SORATOに通ってくる意味を感じやすい点かと思います。	意識している点は、療育内容を決める際に必ずどの子のどの部分にフォーカスをあててその活動を行うのかを説明できるようにしている点です。「楽しそう」であることは当然なのですが、就学前の療育は保護者の方との共有が何よりも大切と感じています。そのため、活動や職員の言葉掛けが子どもの発達とどう関係しているのか、今後どうつながっていくのかをお伝えできるように、定期的なカンファレンス・懇親会などを実施します。	週に1回、2時間の療育の中だけでなく、児童の生活を1日、1週間、1ヶ月、1年単位で見通し、今何を大切にしたいのかを職員全員が把握できるように、相談員や幼稚園や保育所との連携を強化したいと思っています。また、家庭背景にも目を向け、家族とのコミュニケーションを大切にしていきたいと思っています。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童の個別性が高いなかで、集団を作る難しさを感じています。一人一人へのフォーカスが強くなりすぎると集団が作りにくく、皆個別対応になってしまいます。個別対応が必要な子、もう一歩先に進んでいる子など一人一人が求めている“集団”を常に考えながら、療育を行う難しさを感じています。	児童一人一人を丁寧に見たい職員の思いからマンツーマンでの対応になりやすいと考えます。	児童の発達段階の見極めと、次のステップに行くためのきっかけを活動の中に取り入れる必要があるため、職員の発達の知識を研修や日々の振り返りの中で強化していく必要があると思っています。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	SORATO (UMIE) てんり ※SORATOてんり		公表日	2025年12月10日			
			利用児童数	2025年10月1日			回収数 34
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	はい 32	どちらともいえない 2	いいえ 0	わからない 0	・屋内のスペースがもう少し広いとより良いと思う。 ・活動に応じてSORATOの部屋だけではなくUMIEの部屋を活用することで屋内スペースの確保ができるようにしている。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	33	0	0	1	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	30	1	0	2	未記入1
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	33	1	0	0	
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	33	0	0	0	未記入1 ・子ども達それぞれに応じた素晴らしい支援だといつも有難く、子ども達の表情にそれが表れている。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	33	0	0	1	
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	33	0	0	1	・毎回支援計画作成時に、家庭では気付いていなかつた新しい子どもの発達等発見があり楽しみでもある。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているだと思いますか。	32	0	0	2	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	34	0	0	0	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	31	1	0	2	・通所するたび、様々な活動を計画していただきいて、子ども達が通所するのを待ち遠しく思っている。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	19	3	3	9	・幼稚園の先生方とも交流し、連携してくださっているのがすごく感じ取れる。

保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	34	0	0	0	・とても丁寧で分かりやすい。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	34	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	31	0	0	3		
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	34	0	0	0	・毎回、子どもの状況や活動内容を分かりやすく伝えてくださり、手に取るようになります。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	33	1	0	0	・いつでもすぐに助言や支援等をしてくださるので大変有難く感謝しています。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	33	0	0	1	・素晴らしい職員の方々ばかりで安心して子どもを預けられる。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	19	4	2	9		
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	33	0	0	1	・とても迅速かつ丁寧な対応をいただいている。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	34	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	26	1	1	6		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	31	0	0	2	未記入1	

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	24	1	0	9		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	1	0	18		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	30	0	0	4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	31	0	0	3		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	34	0	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	34	0	0	0	・とても楽しみにしている。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	34	0	0	0	・大満足です。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		SORATO (UMIE) てんり※SORATOてんり				公表日	2025年12月10日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境 ・ 体 制 整 備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0			
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0			
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0			
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	活動内容や子どもの状態に応じて検討できている		
業務 改 善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	研修の案内、自主的に実践検討の機会がある。		

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	会議などを設けさらに充実させたい	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0		
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0		

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0		
	(28~30は、センターのみ回答)		0	0		
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	0	0		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	0	0		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	0	0		
	(31は、事業所のみ回答)		4	0	地域にセンターとして機能している事業所がない、知らない	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	0		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	2	2	公園で一緒に遊ぶ機会がある。 並行通園している児童が多い。	
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0		

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	1	保護者室での交流を持てる環境づくり、開放日などで兄弟児も参加できる企画を充実させたい	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	1	事業所の行事についてさらに親しみが持てるようと考えていく。	

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0		指示書が出てる児童がいないが、今後そうしたケースがあれば対応する
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0	保護者から同意書を得ている。。	